

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（９月）

令和 8 年 9 月 11 日
青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 水稻

成熟期における稈長、穂長、穂数は

- (1) 「まっしぐら」は、平年より稈長・穂長が長く、穂数は多い。
(2) 「はれわたり」は、前年より稈長が長く、穂長は短く、穂数は多い。

表1 まっしぐら

(赤字は見込み値)

まっしぐら 調査地点		成熟期の生育状況						出穂期 (月/日)		刈取始期予想 (月/日)	
		稈長 (cm)		穂長 (cm)		穂数 (本/株)					
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
八戸市	市川	84.2	77.3	18.5	17.7	19.7	20.5	8/8	8/6	9/21	9/22
	櫛引	85.6	77.6	21.0	17.8	23.2	18.1	7/28	8/2	9/9	9/15
	島守	89.3	79.7	21.0	17.3	24.3	20.2	7/30	8/2	9/11	9/16
五戸町	根前	81.9	77.1	18.9	18.0	19.8	17.2	8/1	8/2	9/13	9/19
	中市	84.1	78.3	18.6	18.2	17.3	17.4	7/31	8/3	9/12	9/20
階上町	赤保内	88.4	76.8	18.7	17.5	16.0	17.1	8/8	8/4	9/21	9/19
南部町	苫米地	89.6	82.0	19.8	18.6	19.6	19.3	8/6	8/3	9/18	9/17
新郷村	長峰	87.7	74.3	17.6	17.4	18.9	16.8	7/30	8/2	9/11	9/18
平 均		86.3	77.9	19.3	17.8	19.8	18.3	8/2	8/3	9/14	9/18

※階上町赤保内、南部町苫米地の本年値は密苗

※刈取始期は、八戸アメダスを使用して積算気温96.0℃到達日を8月31日現在で予想した期日を記入しており、今後の天候により変動する。

表2 はれわたり

(赤字は見込み値)

はれわたり 調査地点		成熟期の生育状況						出穂期 (月/日)		刈取始期予 想 (月/日)	
		稈長 (cm)		穂長 (cm)		穂数 (本/株)					
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
八戸市	島守	83.6	86.9	18.2	17.6	14.4	16.1	7/29	7/24	9/10	9/8
三戸町	斗内	94.7	88.6	18.2	19.5	20.3	19.8	8/1	7/27	9/13	9/8
南部町	苫米地	96.1	88.3	18.4	19.2	18.1	16.5	8/4	7/25	9/16	9/3
田子町	向山	83.8	72.4	16.1	15.9	17.4	13.3	7/27	7/24	9/8	9/2
平 均		89.5	84.1	17.7	18.1	17.6	16.4	7/31	7/25	9/12	9/5

※階上町赤保内、南部町苫米地の本年値は密苗

※刈取始期は、八戸アメダスを使用して積算気温97.0℃到達日を8月31日現在で予想した期日を記入しており、今後の天候により変動する。

(2) 刈取適期

出穂後積算気温から見た刈取始期の目安は、「まっしぐら」が 960℃、「はれわたり」が 970℃であり、刈取終期は「まっしぐら」が 1200℃、「はれわたり」が 1300℃である。

「まっしぐら」の刈取始期の目安である出穂後の積算気温 960℃到達日は、平年並に気温が推移した場合、出穂始めが 7 月 25 日と最も早かった三戸町で 9 月 5 日頃からと予想される。

出穂後日数で判断する場合は、「まっしぐら」、「はれわたり」とも出穂後 45～50 日頃を刈取始期の目安とする。

積算気温から見た刈取始期

品種	積算気温から見た 収穫始期の目安	出穂期（月/日）				
		7/25	7/31	8/3	8/5	8/10
まっしぐら	9 6 0℃	9/5	9/12	9/15	9/17	9/23
はれわたり	9 7 0℃	9/6	9/12	9/15	9/17	9/24

積算気温から見た刈取終期

品種	積算気温から見た 収穫終期の目安	出穂期（月/日）				
		7/25	7/31	8/3	8/5	8/10
まっしぐら	1 2 0 0℃	9/16	9/24	9/28	9/30	10/8
はれわたり	1 3 0 0℃	9/22	9/29	10/4	10/6	10/15

(3) 登熟状況

9 月 1 日現在の県生育観測ほの登熟状況は、八戸市市川の「まっしぐら」が 71.4%で平年より 31.1 ポイント高く、五戸町根前の「まっしぐら」が 64.3%で平年より 7.5 ポイント高かった。

また、南部町苫米地の「はれわたり」は 65.8%であった。

(4) 令和 8 年産水稻の 8 月 15 日現在における作柄概況について

東北農政局が 8 月 31 日に発表した青森県の概況は、県全体で「やや不良」であった。

(5) 今後の対策等

刈り遅れにより、白未熟粒や胴割粒等の発生による品質低下が懸念されるため、粃の黄化程度等を見極めて、適期に刈り終えるようにする。

Ⅱ 野菜

(1) ながいも

ア 生育の状況

生育観測ほの生育状況は、いも長は平年を下回っているものの、いも重はほぼ並である。病害の発生は特にみられていない。

一般ほ場でも、同様の生育状況であるほか、葉渋病の発生やナガイモコガ及びハダニ類の食害がみられる。

表4 ながいもの生育観測ほの生育状況（8月10日現在）

年 度	植付期 (月日)	つるの ネット頂 到達日	7月10日現在 (本年調査日:7月10日)			8月10日現在 (本年調査日:8月10日)			9月10日現在 (本年調査日:9月10日)		
			いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径
			(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)
本 年	5/8	7/15	15.0	7.8	7.9	43.5	219.6	40.2			
(平年比)	遅1日	遅7日	94%	107%	101%	89%	97%	107%			
平 年	5/7	7/8	16.0	7.3	7.8	48.8	225.3	37.5	83.5	1,046	58.0
前 年	5/14	7/10	14.3	6.6	9.1	43.3	218.3	39.0	92.3	1,321	60.0

※栽植様式：うね幅 120cm、株間 22cm (3,787株/10a)

※種子の系統：庄司系、使用種子の種類・重さ：2年子・120～150g

※平年値は平成28年～令和7年の平均値

イ 今後の対策等

(ア) 葉渋病、炭疽病が見られる生産ほ場では、まん延防止のため防除を徹底する。

(イ) 種子ほ場では、アブラムシ類の防除を徹底する。

(ウ) 台風等で支柱が倒れたり、ネットごと茎葉がずり落ちたりした場合は可能な限り修復する。穴落ちが見られる場合も速やかに埋め戻す。

(2) にんにく

ア 植付け準備等

(ア) 10月10日までに植付けできるよう、ほ場準備等は計画的に進める。

(イ) 浅植えは凍霜害や収穫物の割れ（裂球）につながるのを、植付け深さ7～10cm程度を確保する。

(ウ) 使用する種子は、イモグサレセンチュウやチューリップサビダニ等の害虫が寄生していないものとする。

(エ) 種こぼしは、チューリップサビダニ等の寄生を防ぐため、可能な限り植付

けの直前に行い、種子消毒を実施する。

(オ) イモグサレセンチュウの発生を確認したほ場では、土壌消毒等の体系的な防除対策を実施する。

(カ) 種子増殖「専用ほ場」を設置し、優良種子を購入して、計画的に増殖する。

(キ) 種子ほ場では、アブラムシ類によるウイルス感染を防ぐため、萌芽揃いから降雪前に、アブラムシ類に登録のある薬剤を散布する。

(3) トマト

ア 生育の状況

生育観測ほは11段目の開花が8月30日で、平年より1日早かった。現在6～7段目を収穫中であるが、落花が多く収量は少ない。また、気温の日較差が大きくなってきた影響で、果実に裂果がみられる。

病害虫では、すすかび病と灰色かび病の発生がみられる。

一般ほ場でも、高温の影響により落花が発生した花房の収穫時期となっていることや曇天による日照不足の影響で、出荷量が少ない状況となっている。

病害虫では、灰色かび病、すすかび病のほか、トマトキバガやタバコガ類、アザミウマ類の発生がみられる。

表5 トマトの生育観測ほの生育状況（9月1日現在）

年 度	定 植 時				着 果 状 況								収 穫 期		収 量 (kg/10a)
	品種名		定植期 (月日)	育苗・活 着状況	1 段 花 房		5 段 花 房		9 段 花 房		11 段 花 房		始め (月日)	終わり (月日)	
	穂木	台木			開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)			
本 年 (平年比)	りんか409	自根	5/9 (2日早)	良好	5/26 (0日)	4.3 102%	6/30 (2日早)	2.9 116%	8/8 (0日)	2.7 139%	8/30 (1日早)		7/6 (3日早)		0%
平 年	りんか409	自根	5/11		5/26	4.2	7/2	2.5	8/8	1.9	8/31	1.7	7/9	10/29	6,968
前 年	りんか409	自根	5/12	良好	5/29	3.8	6/27	2.6	7/30	1.9	8/20	2.1	7/7	10/23	6,406
備 考	※栽植様式：畦幅 210cm、株間 40cm、条間 70cm、2条千鳥、黒マルチ栽培 ※栽植株数：1,960株/10a（80坪ハウスに516株） ※平年（H28～R7の10か年の平均値）														

イ 今後の対策等

(ア) 裂果の発生を防ぐため、天候に合わせたかん水管理と最低気温の低下に合わせて夜間はハウスを閉めるようにする。

(イ) 収穫終了予定日に合わせ、9月中旬頃までに摘芯を行う。

(ウ) 病害虫の発生に留意し、適期防除に努める。

III 農作業事故防止

1人で作業する時は、事前に家族等に所在を知らせておき、農業機械の操作を行う際は、周囲の安全確認や、ヘルメット着用などの事故予防対策に留意する。また、思わぬトラブルが発生した場合には、まずエンジンを停止させる。

Ⅳ 農作業中の熱中症対策の更なる徹底

熱中症リスクの高い時期であることから、引き続き①こまめに水分をとる、②こまめに休憩をとる、③暑い時には無理をしないなど注意する。

Ⅴ 農薬適正使用

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

農薬は、周辺作物や住宅地等に飛散しないよう適正に使用し、使用後は、栽培日誌、GAP チェックリストに忘れずに記帳し、出荷前の確認を徹底する。

Ⅵ ツキノワグマ等の獣害対策

人身被害防止のため、1人での作業を避け、ラジオやクマよけスプレーを携帯する。果実等の収穫残渣や弁当の空き容器などは、クマを引き寄せる原因となるため、園地に放置せず、適切に処分する。

園地周辺の藪を刈り払い、見通しをよくすることで、隠れ場所をなくし、クマが農地に近づきにくい環境にする。園地への侵入を防止する電気柵などを設置する。